

国際連携・協力の状況を 踏まえた主な論点案



科学技術・学術政策局 参事官(国際戦略担当)付
令和6年5月9日



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

主な論点

留意すべき動向・背景

- ◆ **地政学的変化、先端技術の著しい進展、地球規模課題の深刻化**など、国際社会は変化し続けている。
 - ・科学技術分野においても中国の台頭、ロシアによるウクライナ侵略の長期化
 - ・科学技術イノベーションは経済成長における原動力、米中間をはじめとする先端技術をめぐるし烈な国家間競争は一層激化、経済安全保障の重要性の高まり
 - ・一か国では解決困難な複合的危機の時代
- ◆ これまで以上に、**グローバルな視点で科学技術政策を戦略的に実行し、国際社会との連携・協力を強化**することが必要。

主な論点案

1) 開放性を持った研究環境や国際交流の重要性の再確認が必要ではないか。そのために必要なことは何か。

- ✓ 世界中の人材が協働する**開かれた研究環境**の中で、**研究者の自由な発想に基づく研究により、科学が進歩**してきたところ。
- ✓ 一方で、近年、開かれた研究環境が不当に利用されることで、外国への不正な技術移転や外国による研究に対する干渉が生じるリスク、更にはそれらが国の安全保障に影響を及ぼすリスクについて、世界的に認識。
- ✓ OECD/CSTP閣僚宣言においても、学問・科学的自由・公開性・透明性・互恵性など**共有された価値観に基づく国際協力メカニズムの再評価と再参加の必要性**を確認。
- ✓ 経済安全保障上の懸念が増す中で、科学的知識のオープンな循環・交換に課題をもたらしていないか。
(研究の開放性及び優秀な外国人研究者の受入れを**過度に制限**することは、我が国の**優位性や健全な科学の発展に悪影響**)。
- ✓ 開かれた研究環境を守るためにも、研究インテグリティ・研究セキュリティといった**国際的な共通の価値観・原則**を進めることが必要ではないか。
- ✓ 少子化や留学生の増加を踏まえた政策や施策は何か (**国際化した現場を前提として検討**)。

主な論点案

2) 国際連携や頭脳循環を促進する上で、必要な事項や戦略性は何か。

- ✓ 科学技術イノベーションを巡る競争が激化する中、我が国の競争力を維持・強化し、存在感を発揮するために必要なことは何か。我が国の研究者が国際的なネットワークの中に入っていると同時に、優秀な人材を世界から惹きつけることがより一層必要ではないか。
- ✓ アカデミアの健全な連携・協力を確保する上で、留意すべき事項は何か（多様性の確保など）。

3) グローバルに活躍する研究者を確保・育成する上で必要なことは何か。

- ✓ 我が国が国際的なネットワークの中で存在感を発揮し、リードしていくために、グローバルに活躍できる若手研究人材を確保、育成する必要がある。そのために必要なことは何か。
- ✓ 人材獲得競争が激化するとともに、我が国の人口減少を見据え、**優秀な研究人材を多様な国より確保し、活躍**してもらおうことがなお一層重要ではないか。そのために必要なことは何か。